

「人材(ヒューマン)アセスメント 完全ガイド」のご紹介

事例編：アセスメント研修で使用する演習ツール（IB案件・IS指示書・GD指示書）付き

人材(ヒューマン)アセスメントは、“社員の成長”と“会社の活性化”を得意とした商品です。

この本は、**研修運営の実践マニュアル**です。アセッサーがすべき活動、ノウハウを具体的にまとめました。ここでは、「**人材(ヒューマン)アセスメント 完全ガイド**」(定価 11,000 円)から抜粋したページの内容をご紹介します。

本編：120 ページ、事例編：38 ページ（A4版）

人事教育を科学的視点で考察

人材(ヒューマン)アセスメント 完全ガイド

入門解説編 今日、アセスメントが求められる理由

マニュアル編 アセスメント研修の具体的な進め方

事例編 アセスメント研修で使用する演習ツール

具体的な
マニュアル

ノウハウを
徹底解説

お役立ち
ツール満載

TK 人財研究所

マニュアル編、アセスメント研修の具体的な進め方

1. アセスメント研修のカリキュラムやツールについて、概略解説 34

- 1 アセスメント研修カリキュラムは2日が定番
- 2 演習ツールIB-IS-GDは意地悪な内容がどっさり
- 3 研修カリキュラム「オリエンテーション」
- 4 研修カリキュラム「IB演習及びIS演習」
- 5 研修カリキュラム「GD演習」
- 6 研修カリキュラム「IBグループワーク」
- 7 研修カリキュラム「ISビデオを使った振り返り」
- 8 研修カリキュラム「自己PR書(能力開発計画書)作成」
- 9 アセッサーの使命 厳格な時間管理とコミュニケーション環境づくり

2. IB-IS-GD それぞれの演習の解説 43

IB演習(案件処理演習) 44

- 1 IB演習の進め方 間違いや誤解に注意
- 2 IB演習の出来栄を観る、6つの視点
- 3 IB演習グループワーク 仲間と協力しベストな解答に仕上げる
- 4 IB演習 アセッサーの使命 自分(参加者)の個性を生かす

IS演習(指導面談演習) 53

- 5 IS演習の進め方 全員が同じ条件で受けてもらう
- 6 IS演習の進め方 案は案のストーリーが存在
- 7 IS演習 観るべきポイント
- 8 IS演習の裏のストーリー「投げ掛ける言葉」
- 9 IS演習振り返り 録画を観ながらみんなでアドバイス
- 10 IS演習 アセッサーの使命 事実を受け止められる演習に

GD演習(問題解決討論演習) 63

- 11 GD演習の進め方 討論はルールを守ってもらう
- 12 GD演習 今まで実施した討論、いろんなタイプの人がいきました
- 13 GD演習 討論本番以外でも情報を得る手段はある(レギュラー対応)
- 14 GD演習振り返り シートを使って 自己認識キャップをあぶりだす
- 15 GD演習振り返り 録画を観ながらみんなでアドバイス
- 16 GD演習 アセッサーの使命 大事なものは結果ではなく、そこに至るプロセス

3. 参加者が自己理解から能力開発へと進むよう手助けするのが役割 73

- 1 能力(=ディメンション)を正しく読んでもらう
- 2 正しくアセスメント(=評価)してもらう
- 3 参加者は、自分にとって有益な情報には耳を傾ける
- 4 私どもアセッサーはやはり口を出すのが商売
- 5 アセッサーの使命 参加者の動機に火をつける

4. 自己PR書(能力開発計画書)の作成とフィードバック面談 80

- 1 評価の総まとめ 自己評価を決める
- 2 評価結果を伝えるための「評価エラー」
- 3 強み・弱みに何を添えるか 立場によって異なる
- 4 フィードバック面談 最後の最後まで支援者で！

5. アセッサーによる参加者の人物像描画とレポート作成 87

- 1 アセッサーの仕事は、“メモ魔”
- 2 アセスメントは、参加者の人物像を描くことから始まる
- 3 アセスメントしにくいタイプは、アセッサーの腕の見せ所
- 4 アセッサーの大事な仕事 レポート作成

- 5 アドミニストレーターとの会議で仕事が終了へ

1. アセッサーとアドミニストレーターとの合議による評価決定とレポート例 97

- 1 アセッサーとアドミニストレーターとで、ワン・チーム
- 2 まず、参加者のタイプを決める
- 3 参加者の強みや弱みについて傾向をまとめる
- 4 アドミニストレーター次第で、アセスメントの品質が決まる
- 5 会社トップへの報告 褒めざるを得ない存在でありたい

2. 演習の会場風景と時間管理 107

- 1 使う会場が多いのが、この研修の特徴
- 2 演習ごとのレイアウトや注意点

3. ようこそアセスメントの世界へ 日々、研鑽を楽しもう！ 115

- 1 良き出会いに乾杯！
- 2 良き手本に乾杯！
- 3 良き先輩に乾杯！
- 4 良き参加者に乾杯！

事例編、アセスメント研修で使用する演習ツール

「IB」(インバスケット)：案件処理演習

「IS」(インタビュアー・シミュレーション)：指導面談演習

「GD」(グループ・ディスカッション)：問題解決討論演習

本書の利用にあたって……

■シートについて

シート 1-1-1 から シート 2-8-3 まで、文章の内容を補充する形で、参考となるシートを添付しました。
【知識や知恵をつけるための資料】として、また【研修時の使用ツール見本(参考)】として読んでいただければと思っています。

■用語の解説

この本で使用する用語を統一して使っている箇所がいくつかあります。そういった用語を以下に挙げておきます。

■参加者 ※研修を受ける受講生を指す

■観る (アセッサーとして、演習参加者の活動やシートを観る)

■聴く (聴取で) 訊く (訊問調で)

■アセスメント(=評価)、と表記 ■レベル(=評価点)、と表記

■グループ ※研修中、アセッサーが受け持ったグループを指す

